



特 別  
子12  
3643  
37



何れ人初持し謠本。虫又あはれに成  
借用し。満ちる。心。至る。心。

朝長	百萬	梅枝	杜若	山婆	蟻通	加茂
葵上	自然居士	盛久	安達原	通成	忠度	俊寬
遊行	座都婆	佛原	當麻	檜垣	楊貴妃	松風
實盛	所老松	耶郭	大原御幸	富太鼓	木賊	西行櫻
姨捨	井筒	殺生石	紅葉狩	景清	北藤戶	誓願寺

新金圖書  
 故 梅若誠太郎氏  
 昭和四年十月廿日  
 梅若重久氏  
 寄贈  
 圖書印

野宮	安宅	通小町	花筵	融	鞍馬大物	三井寺
百萬	錦木	関寺小町	源氏供養	夕顔	定家	河漕
	雲林院	二人静	芦刈	隅田川	蟬丸	鶴崎所
	耶鄂	浮舟	善界	善知鳥	玉島	東岸居士
	殺生石	三輪	芭蕉	江口	柏崎	海人

加茂 〇多砂目シ 雜ワキシ 竜神出能ハ本ワキト云ズ皆雜賜シ  
玄用云外座内實  
 〇不川也セシカ少河

〔佐竹道隆大文殿若殿早世アリテ御親父秘賜御カレケル頃月忌追悼ニ  
 親世宗名年ノ矢ト云フヲ流ハレシトシ〕

〇働ノ内足細カニシテ又荒ク踏更アリ雷ノ鳴ルニ表スルト云

俊之見 还像懐旧愁歎 位序

〔予玄用居士ニ問 俊之見ノ出端 还懐シ 还懐ハ底ニ恨ト怒トアリ  
 ヨハクト身ヲ恨ルノコトニ非スヨ居士答ニテ云イカニモ

〇玄用居士曰 歸洛シテヨト云知ヨリ仕テ一平家如依ノ繪ヲ見テ思ヒヨリ名  
 ト申サレ侍リシ



モノ一拍子ニテ又囃也ムスブキキ又也

○花ニイ只ノ舞也初段ヨリ二段目至ニ笛ニ段ニ戀ノ手アリモニアル能ト云

真ノ貫ノマイニ非スイヤキ海人ナレ行年ノ思人ナレ優ニヤサキ也

○花ニ野宮ト松尾トニ習アリ破ノ舞ノ留ナリ傳ニモニ留トアリホク所ナリ  
太夫ノ仕舞ニヨリテ口傳アリ一説ニ見留ト云又ラクアルホ上死云モニヨ付テ  
舞フトキハ堂中ノ及ニテホ上テ唄ハスル也

西行傳 述懐出玄 位破序

○花ニ西行傳ハ遊行ヨリ真ニ可難遊行ハ朽木ノセイナレ走ニ可難西行傳ハ花  
セイナレハ真ナリ 私曰西行傳ハ真ニ花カロウキヤカ成ヘシ遊リ柳ハ走ニヨハク  
女不成ヘシ  
○西行山居ノ僧トイハ尼哥人ノ口持ユ又スヘシ

○理木ノシテ出流し朽木又ノ老人ト夢中ノトモ花本ノ積ニ

○見渡セハモ世玄

○花ニ後夜ノ後ノ多ニテ鼓笛留アリ

○花ニ序舞ニ笛ニモ留アリ 古木ニ花ノ喚タルヤウニ可難  
待テハシクヲナツカシテ僅ハ玄用公云止ル心ニ早クシツカリト唄ガ良トナリ  
○花ニ太コ過テ大少心持所為ニ太コアトサヒクナラヌヤウニ囃スヘシ

折云私ノ事

○年遊行ト心持似タリ堂宇直ニ遊行ト又タリト云ニ 遊行柳ハ一帯ノ体ニカ

同位ニテ可然歟

○太夫出流彼アヒラニ此迄カツラニミテ叙放ナリ 其内 江口ニ心持似ルヘシ 江口ニ遊女和泉式  
部ハ官女其遠自アヘキ歟 惣体ノ一帯ハ太コ又ニテ堂宇直ニ似タリ

有難也

秋ヤ通ラレシユリツブリノアリヤウニ相傳アリ也 申サレシ也  
玄用公堂風折南時サツチユリ春モモ

○本經此等云頭ト云夏アリ又句ツカヒノテンヌトモ  
○曲年 叙叙カウラニテはソウワ格ニ似タリ

蟻通 神祕 位破

○金春ハ必身強 叙令吹ウカリアリ言ハ大臣甲服心叙ハ甲紀身之ノ其之ハ  
京ヲ集ノ作者和歌ノ名ヲ叙シテ乱ラク尋常ニ其内ニハリアラセテハツキリト  
見ラヘシ出ニラフテエ夫スベシ  
○歳公微公云此文有ヨリハヤ歌趣向ノ氣サシタル心持スシ  
○思ひあることゝのあらハ  
ひきこもてあやめもあやぬ大空にほりとやとい思ふさかハ 紀身之

○大正の  
感

○ありさかりこと思ふさかハ 感  
あはれ 玄用公云思ふさかとハソトハ感スル  
心 唄フヘシ

○久長云テハツク志  
大夏ニヤラハ見  
居曲樂ノ出傳  
おまをわめてるまハ  
唄出ツク声ヲツツリト引テ是ヲ位ニ唄出ス此拍子トテ合シ

○ハキ仕業スル時ハ上端ヲ唄シ但シ太夫ニ可伺

一調鼓ノトキ上端ヨリ唄モアリ又宮人ニテニサハヨリモ云合以テ也  
又サシヨリノ夏モアリ曲ヨリノ夏モアリイテノソトヨリノ夏モアリ  
ハソトヲ極カガヨリセカルク 澄上再録是ヨリソトヲ時ハイテノヨリ唄フ  
○ソト唄マウ口傳アリ 殊ニシテソト十六別ニテ大ナ夏也

○玄用公云思ヒ出レテノ出ラレテハツキリト唄(キヨシ) 秘ニ云働ニ  
○能ハお上声ナシニ今替員之ト唄フ カル故カ

忠度 述懐 位序破

○花ニ田村忠度 述懐云々 感清純大方似タル 雜也心持ハ皆各別也 當唄云々也  
優ニ尋常ニ可難云云 玄用公云外虚内実  
○一戸不越 序ノ破 云々也  
○サ化ニアラヨエト云所ヨリカケテ一戸ニお也 後一戸ハウキト輕一色ニキ出 翫アリ  
○市云大夏ノ脩進 似セモノノ山賤ユマスヘシ











つるまを波  
○花初戀慕ニ似タリ中程ハ哀傷切ナリテ哀傷ヲ捨ハヤカニ離シ序破急アリ  
走ノ離シ

○花陰次オテ  
テの上

○是ハ津小位ニ有ル人  
カサメテ

○女内裏ニセテの公の  
心作ル是番趣向發ル如ナリ

○何と云ハ可成り  
ウハソソニ

○何のさゆらふ之きとと  
星ヨリソバハリトアトラハシランガ  
タメナリ

○カサメテ  
カサメテ

○鳥甲舞衣着ル

○何のさゆらふ之きとと  
文のソソニ又テイ初ラケレテ  
初ラケレハハル

○感  
狂氣心持如ニ

○花ニ世  
難シ

○カサメテ  
カサメテ

○樂ノ後ノ出ラカケテ  
詠フアアリ口傳

五常樂ハ平調ノ女ノ五停ヲカケテ云リ

景清 述懐 位破氣急

○織公云盲人心持ヲ傳 當詠ニ織公ト云ハ始終玄用居也

○織公云世ニ松門出ラ平家心持ニ唄フト云説アリ代々ノ承傳ニキ変ニ理ヲ屈シ以  
云時ハ平家ト云唄物ハ其時代ニキキ也 又云只其外ニ句々相傳在也

○景清一枚面厚板大口水衣沙門帽子杖作物ハ初ニ出ル  
カサメテ

○吟和  
松門招き送り  
カサメテ

○カサメテ  
カサメテ

○カサメテ  
カサメテ



○ふよりのうらやま カルク  
○流 ツカヌヤウ唇テ巾

○累清是ヲ見テ至極大立 カハル  
○五番ニアル事ト云 おまを

○ち カハル

○ ツカケテ巾

○ ツカケテ巾

### 杜若 雜曲述懐 位破急 一説序破急

○織公云行脚僧キカシ又男ヲキモ男ヲキ時ハ諸國一見ノ者ニシ  
○男ヲキ時ハナツク旅人 ○花中物着也

○玄用公云此ハ白ヤシニ輪ハ各別ニ笛吹ヤウカル口傳又序ノイニモアリ  
花ニキリサククト可囉

### 安達原 位破急

○玄用公云此園ノ内ハシ御ラシ候ナニツナガラ云ハナラ跡ニ山伏ヲニラム心ニ下心  
ツヨクノ氣ヲノコシテ唄フヘシ下手ハ上ラツヨクアラクト唄ハ下心ヨキ故オソロカシズ

○後太夫出羽太早笛モ出羽モ早シ早笛ノ時ハ太コ打込ホ止急出ニ面盤ニ名  
赤頭法被軍切ヌキカケ腰サチ杖指新負現在ノ鬼

### 當麻

○花云當麻前姥後泥眼

○當詛ニ合点ニイラ又ヨシ今ヲ織ア清親ニ尋侍リシ始老女後増ノ面ニ  
葛ノ面ニ眉ノ字タル面也羽衣ナトモカケ候化女類ニカハル横面ノ常世ヨリノ氣高キ  
心ナリ舞ノ位早カラスホナラスムカシキ也夫ニ鼓ヲ難カカル夏ニ是ニテ又スヘ下  
申オレシ

○後太史出羽太三殿返ト云々アリ 面増玉出云云 冠ニイ衣太口左ニ経右ニ肩

二法皇 三后 四内侍 五下 六色下是カ

大系御幸 位序

○六色侍下 大后六 近ハ後白河院ル ○三種の御衣 ○五后子女候ハ於テ

太史出羽殿ナシ出立花 帽子キサカシ面増 ツルツル面キカシ内侍同前

織云云 イツト是作物ノ内ニ明フ 遊屋揚屋出心持 山里ハ出何公ナラズ

○獨言也 山里ハ物ノ 世ノ言キハハナクニ 任テカシル

織云云 出サシ出 三ツカラサシ色 心同位ニナラズ 此段ノ出サシカ 咄ノ心持

水々ニサ新

織云云 出サシ出 三ツカラサシ色 心同位ニナラズ 此段ノ出サシカ 咄ノ心持

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○底の長平ニナリ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ

○心知 九重ノ 少多又仰ルニ 体弱ニ













朝長

哀傷述懐 位序傳

西村三平傳云侍訊前ニ剛ヨリ待賢門ノ使軍ノ意ヲ伺カシム時ワモ語アリワキ方ノ習也

玄用云一番平家修羅ノ位ニスルノ傳有

○八島ヨリ尔市當訊シリ前平家修羅ノ心ニ唄フ傳ナリ

玄天ノ一 位破急

○玄用居云宗元老人當ニ唯イワトナキ我オモヒト唄ハレト心トウタハ恨心  
ウスキヤウニ見ユト申サレトナリ

遊り柳

出云 位序破

○當佩一番始終サビルト云唄方ヲ云スベシ其外述懐々曲ニイ出云忠慕等ノ  
文句アリト云ハレトカクサビテ唄フト云更ラ忘ルヘカラス

六費生

述懐 位序破 説序破々

○當訓至テ大夏脩羅也 日本ノ剛ノ者也云ハレ討死ノ時七十三歳ニ能ク云スベシ

○當諷枕言古ノ時玄用居ニ問曰ステ脩羅又ハ難ノ類初出俗物ノ老人也只其者成テ  
賤キ者ハ賤キ唄候カヨ候ヤ答曰似セ者ト云ハレ其本体ノ變言有シサナク當訊モ融モ忠則モ初ノ出皆  
同言又ナリ

名之通り也

	○	○	○
	舒	訣	天
付	舒	訣	天
通			
石			

	○	○	○
	知	輕	成
	知	輕	成

左り



姨棄

位序破々々

○花三妹捨衰ナル囉也 後弱ナル囉也 老女ニイ大夏也 習多シ園寺檜垣妹捨似タル囉也

コビテ真ニ枯木ニ花ノ咲タル如クニ園寺ヨリカカルク 周云僧口キニスル夏モアリ

○玄用居士曰俄ニ与左衛門死後此能アリニ与左衛門男若輩ユハ太コナシニトメヨリ太鼓

ナシニモスル夏アリト

私云衆生ヲ

シテ也

○嚴云とてノ字オモクナルハシテ字悪キ故ニシノ字

シツハリト収ユワシアラセテ其

カニテノ字ヲ唄スツル是ヲ

取テ捨ルト云

△今云ニ字下ルニ章ハ上フ直ナル

ニ章ヲ少ツカサレハ下ルニ章ヲ升

ニラス是モ上ニテツクハ悪子カラ

ツヨク下ニテツクヘシ

右の服侍とて、  
去程子、  
方縁とて、  
子道可也

有縁ヲ好ニノコノ字ノ下ケムツカシ極下ハ又ケオモク下ハコナルヤウニ

成カアタルニ其味ニナルニと云ヲカユル心ニ下ラツヨクツケテ子カラ

ナヨト下ル也

○今大勢至イノ字ニツアリ上ヲ顯ストキハ下ヲカクス如シ

○大勢至とハ、  
直ナル章如ク唄タラズ上テ唄ハ上直ニ下ルナリ





河漕 述懷 位破急

○此訊破能ノ内ニテ大妻ノ能ニ下キノミテ面白カラ又能ナリ

當訊ケイコノ時玄用居去ニ同フ 厨ハコビテ唄フカヨキト、兼リ候ト申ケレバ、コビテ唄フト云習ハナケレトコビ子ハ面ニウツラヌト申サレキ

○玄用居去云引綱モト云マウナル処アニクナラヌマウニ唄フカヨシニテ杯ハ勿論ノ事也

後ニテ

○花ニ冥ノニ搜男ノ面

○當訊後ノ出搜男ノ時モアリ又蛙ノ面ノ夏モアリ時ニ此ニ蛙ノ面ノ時ハ位格別ノ事ナリ

面心ユ支

○金ノ神殿月次ニ沖ニ儀ニモト文夕ノ気味ニ唄ヒ玉ヒナリ

影形

玄用居去ト 權現様觀世宗雪ニ當訊仕舞シテ能ニ可任由 上意アリニ字名ニ此ニ當訊能ニ仕候時ハ園寺同前能ニテ可所座候然時ハ昔ヨリニ老女ト申來ルニ此一番ヲ添申時ハ老女ニ罷成申ヘ候ト言ヒ相止ニ故ニ觀世ノ家ニ此

能ナシ下申サレケル當訊ノ全体右ノ有増ニテユヌスヘシ

葛ノ権三郎云此訊ノ曲舞閑ナルカヨキモ非ス只トロリト唄フガヨレト也

東岸ノ居去

此曲舞走ノ乱曲ト古來ヨリ云ホトノ夏ノ大事ニ唄フヘシ

海人

○花ニ浪ノウキト可囃走ノ囃也頭ニ龍ヲ載タル能ニ後出羽ヨリ取分勢ノヌヌ様ニ囃

○花ニ輕キ一音ナリ

○織公云玄用居去ニシテ出吟ヲナリ然レハルル杯ハ和唄ハサハテスギテ當訊ノ本意ニタカフニ也

○此ニテ賤海人ナク其心持肝要也 融ナトナラヌマウニ玄用居去云

○鞍馬天狗 現生鬼 破急

○花ニ善界ト大方似タル囃也 細道ノ鬼也 太郎坊沙那王ニ心ヲカケタル艶キ体ナリ

位ハ善界ヨリ早シ

サ付ト云夏 〇ス人むらさ山 〇のくまも

アリ口傳

○玄用居告白出立時ハ極習ナリ 他流ニ自善果ト云事アル也 當流ニ不用云又ナリ  
年經テスメル大天狗也ト云ヨリ登セリ 當流ニ限リ白出立ノ傳アルト

### 定家

戀慕衣傷 位序破半登僧

○花ニ以テ事アリ 至テ大事ノ賜也

○定家葛流九ヶノ傳 □猶々語りニイニ候ハ此間ニ墓ノ囃ト云大事ナ有是ヲ  
ナキ此間チ切大事アリ 関寺ノ曲ノ切モ同前此ニ番同切也 説々書記  
ス△△△△△ハ亦△△△△△ハ亦△△△△△ハ是ハ下畧也 新九郎  
流ニ用ルヨシイモ後ノ志ヲヤトカケズハト短クカクルガ習也 半志ト云 □後ノ  
出羽真ノ志ナリ 頭モ亦ス 刻ム拍子ヲヨセテ 唄ハスル 越サ又一色ナリ 勿論段  
トラス一説ニ段トルモアリト □セル苦シシ 定ニテ苦ミ及ト云及チアリ 諷カハス

□ニツモナキト一味ノ御法トノ間ニ五輪碎ト云習アリト世ニ云ハルニ非ス草木  
國土ノアタリヨリ五ツ双ヲ有是ナリ □小忌衣此間ニ... ○ヤアオモナト唄フ  
亦此所ニ袖ノ神樂ト云習 亦オモナノイノト唄ヒ舞ニカル前ニ  
露ノ細トキト云大事有解ニイノ序ニカルナリ 小マハリ云 □亦イノカリニ六道  
ノ拍子ト云大古夏アリ石塔 松ノ拍子云 □亦ハカリモト云所ニカ子トトメト云  
大事アリ 諷カハス以上九條也

○花ニ物スギタナリケリト云文句ニ合セテ 囃ヘシ 留モイ 只有(カラス 諷 猶心得アルハ  
○花ニ後ノ一色ヲ真ノ一色ト云 越又一色也 及ヲモウタス 刻拍子ヲヨセテ唄ハル也 夢カトヨハ  
一色ニ非ス 御ラシセヨノ所一色ナリ 此説而自同前  
○出羽一色不越 作物ノ内ヨリ唄フ 面瘦女長絹大ロ  
○玄用居云 觀世瘦女ノ面ナシ 初モ後モ深曲見ナリ  
亦云此後ノ出独リ言ニテ歌ヲ吟スル出也 大事也 夕顔初ノ出并筒後ノ出ニ似タル持  
也 去ルニ依テ各一色 常一色ニ非ス 是ニテユマスヘシ  
○真ノ七一畧ニツツケニ一色カケテ 諷出ス



○大支ノ口キ也男口ナレ尺哀傷ヲ兼 花陰ノ口キ始終哀傷ユマスヘシ

融 此云 懐旧 位破急

○花ニ真ナル難コトビテ老木ニ花ノ咲ル如クニ可難

○月七ニヤ 此出羽幽玄ニシテ懐旧ヲ兼其上老人ナリシホラシク唄ヤウアルヘシ  
懐旧ノ意味始終 眺望 思ヒマルキ風景ナリ

○目下ノ乃 此位大支也イシアラセテ  
ウキヤカニ唄フ

○花ニ公家ノイナレハ氣高ク尋常ニ可難ニイ位急ノ急也

父顔 懐旧 忠慕 位序破 師序

○花ニ揚貴妃并筒々顔宗甘同位也ト云 佛原トノ間也ト申サレシ也其後今織部

玄用居士ニ當詠ノ位ノ受尋侍ハ野宮ト 詠ハレシ恰合玄用申サレシ通ナリシ  
日出羽鼓習アリ山端ノ一色ト云

○織公云此出羽独言也并筒定家ノ後ノ出イッレモ同心持也サレニ依鼓モ常ノ一セイヲマス  
詠ヤウムカシキ也 山端

○中村庄名衛門カ云此一色 毘羅ノ一セイト云 毘羅ナシ長地ノムスヒヨリ唄フ

○巨ノ云出羽歌ニテ出ル唄ヤウ并筒ニ有後又巨ニ尋ケレハ定家ノ一セイト同シコイ  
合ツケケホトコセテ唄ヒ出毘羅ナシ

○花ニ舞ノ掛リ并筒ノ心ニ習アリ大事ヲ掛リナリ

隅田川 子ニ迷フ誠ノ物狂シ 哀傷 位破序 一説ニ序女急

○花ニ賤キ狂女也 哀傷ノ中ノ哀傷ト名付 〇花ニ一色ハ中ノ一色也一セイ越破

○大倉流ニカキヲ留ト云羽習アリ 〇幸流ニ乙トメト云テアリ

羊舌知鳥 迷懷 位破急 花ニ哀傷也 陰ノ位ト云

○花ニ一色早クナクニスチシ 破トメ也 花ニ面是ノ瘦男

○花ニ一色早クナクニスチシ 破トメ也 花ニ面是ノ瘦男

江口 釈教 位序破氣 一説序々

○此一番六ヶシキ能シ 於世ニテ普賢非ノ化現也云 戀慕ノ心少モナクテ 釈教

無常ノ也 如傳 工 夫スヘシ 花 出羽一色越一色ノ内 當ニ忌手ト云フ有 亦太史出テカシキ事アリ 口傳 船中心持

○此一番一色ヲ當冠一色ト云 初ヲ次ヲ出シ 中一色ニ任手出テ 亦次ヲ出シ 細々ハ不サ一色ノ内ニ船ヲ出ス

○予云用居士ニ問テ云 ヨシヤ芳野云 処所ト云リノ前ウエヤクト云 所カルク 詠候カ

ヨシ候ヤト尋ケレハ 師云 江口杯ノ詠ニキハ 何処モ云テスル所ナキニナリ 所

ナカフニツカシシテ 掉ノ歌ト云 所ハ分リカルク 地ハ成程 閑ニツケルカト也 花ニ愛テ 鼓不チ子細アリ

○秋の水みまきり 此曲始終 解脫上人 愚迷發心集ノ全文也 織公曰 心思ヒノオノ字イニテ 唄ニ候ヘノ思フニ 則文句 唄フ心ナリスヘテ 詠ノ句一字ニテ 心ヲソラレサルヲ ナキ 深切云ヘキ方ナシ

○此能女能ノ中ニテ 真ノ能也 昔昔 薩ノ柏子尼 冠ノ柏子尼云 平調返ニシ 此一番本ナリ 平調返ニシ 且ノ落シ 所口傳

○花ニ平調返ノ 當ニ番ニ有 昔 江口一番ニ吹タリ

花 恋慕狂女 位序破

○一色越 破ノ急

○此ニ曲大事也 初ハ少カク 後ノ曲 極シツカナリ 云用居士 或時 依田源ハ 此初ノ曲 佛堂アリニ 世間ニ唄フ 如クサラクト 唄ハレケレハ 居士曰 曲舞 所望ノ時ハ 何ノ詠ニテモ 靜ニ唄フモノシ サラクト 唄ヒテハ キカスル所ナシト云リ

○久長云 成イリト 狂和多しヨ 常ハ不チ 大返ノ時ニラセニカチ

○織公曰 丁時サシ 三ツノハシカハルヤニ 一ノ刀、二忍、三ニ、一ニ、二ト

○織公云 ハヒスホノ濁字ハ 辰ヲ先ニテ扱フ 唇先ニテ扱 父ニ而子ニ

此後ノ曲大事也 云用居士曰 羊子ニ 教ルニ 五通ノ段ナリ

源氏供養

雜位破序破

○西村三郎兵衛云此中入間ナシ故ニ甲ツレリ源氏ヲ編タル子細ヲ問カルトキ甲ノ物語アリワキ方ノ習也長短三通リ程アルヨシ

○花ニ一色ハ中ノ一色

○花ニイ只ノ舞ト云フ有閑寺熊野當訊ニ番ニアリ

○此曲唄ヤウ一ウタノウ切明カ唄フニトナリ源氏卷々ノ名目ヨクキマユウ也

○此曲始終依リ聖覺法師ノ表息 五十四帖中ニ七帖當曲ニ入

○花ニキリ真ノキリ也

芦刈 幽玄述懐祝言 位破氣 師説破急

當訊ノ趣向大和物語ニ出 季吟抄ニホ女

善界 現在鬼 位

○花ニ力道也ユタカニ落ツキテ太夫ハタラシ能ナリ

○織公云早笛ナトノ太夫ノ出 柏子ヲ心持上ニ柏子ニラヌヤウニ出ラヤリ越ト云 居ツカ又ト云モクツキモノ也惣シテ太夫夏ノ切又ハ玉音浮舟松風ナト切此心持シテ唄フヘシ

○名付タリ此間ニカケリ有翔前ニ太夫橋掛方ニ行ク其間笛イ只ノヤウニ吹ツテ返ス時 笛ナラシテカケリニナルニ是ヲイ翔凡イ只カケリ凡云

芭蕉 述懐位序破 師序破々序

○花ニ真ノ能ニ非ス走ニ非ス行ノ能ナリ 花ニ序破

待訊ト此ニ志サシ 位同前其申也 沈子夕陽西子ウイリ 後ノ出位同前也 次才女 其中初出保 芭蕉子あらておのゝ

○花ニ陰ノ次才ナリ草木ノ精大方陰ナリ

○中入常ノ申ヨリ宗ナルニ笛筒音分リ吹

○初ノサシヨリ此待訊カカルク 花ニ志ハ中ノ志也 上 物スク鼓ヒツキル 心アリ一志越 是ヨリサシノ心節有似テスラクト

○予此クリ前ヲサリト唄ハ候ハ織公云芭蕉ノ位ノ内ニテ此クリ前カカルシ芭蕉ヲ

ハナヒテカルキハ派ス  
庭のまきい  
是テ萩原ニキユル  
字アリ大ナハ扇屋給ル

○花ニイ内真ニ唯シミイスキテ賑ニ心ヲモノスゴク可唯

おとくをうらふふまのまふ  
是ヨリニツメル心ニセサハ早ク成タル也

通小町 戀慕

○花ニ男ノリヤウト是ヲ云翔ナトウキマカニサクサクト唯ヘシ地詠スルニハ思シ地詠肝要ナリ

○花ニ陰ノイカ

○當待詠ニ輪待詠サカルト直ニ鼓ホ侍詠ノ文夕道行ナレハ然ルニ

立出て ちやち返ワキ立此草庵ト唄ナリ外ニ程々ノ侍詠如此

待詠鼓此草庵ヨリ直ニちやち當詠ニ輪ノ外ハナキ又ニ少半莫目本如直

○花ニ男ノ瘦男ノ面ニ當詠ニ中ニモ元高キ面ヲ用ユ

關寺小町

拾遺ニ位口傳哀傷ト云  
述懐々位ニ序々々々

私ニ曰拾遺ニ哀傷ト書タレ當詠ニ  
上哀傷ノ文夕ナシ如何

○花ニ関寺猶垣姨捨似タル唯ニ中モ関寺大夏ニイツレモ陰ノ位也ト云

僧軍児次弟位羽口傳 厚板大口水衣腰帯 數珠扇ツレニ四人

○序破急ノ位タメスキノ羽口傳アリ

○初ヨリ太夫作物入テ出 作リ物ノ屋根ワラニ太夫ノ腰ノ通リニ糸ヲ張短冊ヲ付ル左四枚右三枚

付マウ有右ニ杖ヲヨセカケ置

茅屋ノ能ノ中ニ是ヲ本トス舞序破急ニ跳ス諸ノ能ニカハ

待え〜ん〜を 松子あぶ〜〜〜

○花ニコヒテ真ニ可難枯木ニ花ノ咲タル如ニ

○老女鼓ノ音小音ニ事傳ニ皮ハ羊ヲ用ユ新九郎家ニ皮三掛アリ 織公物語ナリ

○出羽作リ物ノ中ヨリ唄フ鼓ナシ面老女厚板キナカシウハ髪セ帯

○織公云三老女ノ内此能現在也残り二番ハ過去也其ノ一老女アリ 働自由ナルニ現在ニテ

百トセ及人ノ働可考秘事也

○ 自云ニテ出次弟小記サシスベテ曲ニイニナラヌヤウニ可唄シ

○ 自云老女類別シテ拍子ハニラヌヤウニ常ノハニラヌト云ヨリ今テカカルク

○ 自云老女甲色高ニツヨキ方ニ唄ハシテ老女音ニウリヨクニテ方アシラヒ安シ

○ 自云當詠ニカラスワキノ道行ナト大又ノ物ナリ凡拍子ハニラヌヤウニツカナル中ニト、

コホラススラリト唄フハシ下ル章ナトガリスグレハ曲舞ノヤウニ和ナル也左様ニナキヤウ

ニテワキ地凡ニ別シテハマラヌヤウニユマスヘシ

○ 〇〇〇〇人の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

百トセ及人ノ働可考秘事也

○ 自云ニテ出次弟小記サシスベテ曲ニイニナラヌヤウニ可唄シ

○ 自云老女類別シテ拍子ハニラヌヤウニ常ノハニラヌト云ヨリ今テカカルク

○ 自云老女甲色高ニツヨキ方ニ唄ハシテ老女音ニウリヨクニテ方アシラヒ安シ

○ 自云當詠ニカラスワキノ道行ナト大又ノ物ナリ凡拍子ハニラヌヤウニツカナル中ニト、

コホラススラリト唄フハシ下ル章ナトガリスグレハ曲舞ノヤウニ和ナル也左様ニナキヤウ

ニテワキ地凡ニ別シテハマラヌヤウニユマスヘシ

○ 〇〇〇〇人の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ

○ 〇〇〇〇の唄と云々ニイイー 写しゆようふ





○當<sup>侍</sup>通<sup>少</sup>所待訊節ニカルト直ニ鼓ヲ出スハ待訊ノ文夕道行ナクハ立出テヤ  
キ出キ切テ此草庵ト訊返ス外ニ得々待訊モチカケ切テ出ス

○ワキ作物ヲ立見テ少間ヲ置テ唄フヤニヤ  
右雜位アムワニ唄フ事 肝心  
早ク唄出セハ余情ナシ 此哥イカニモ

○<sup>スル</sup>〜<sup>スル</sup>〜<sup>スル</sup> 秘<sup>ニ</sup>女 愛<sup>ラ</sup>一<sup>五</sup>ト云口傳

○一説三輪神男体也男博士ニ舞百又アリ口傳

○花ニ小手巻ニ針ヲケト云所ニテ腰ヲカケルモアリ 曲ニイノ前ニテニ三勝ナル位ナリ

○神樂舞口傳百幣ニテイ 金春ハラ相

○觀世白拍子 金六神ホニハト云 仁ニイアリ

○花ニ太コチ出習アリヒ糸ニモ非スノヲヌミモアラサル位ニ

○太コノ从ト大小ノ从ヲウケテ早振ト唄フ 是ヲニツ拍子ト云

○神ホヲキス時キ出ノ序ノ位ニシメル又習也 舞一段ハ神ホノ位ニ笛神ホニ  
似タルキヲ吹テヨリニイ急ナリ 太丈幣ヲ捨テヨリニイニナラス

○一説神ホノ内足拍子習アリ不棄ヲ本トス 惣別佛神ノ能ハ不棄也非拍子程  
ヲ踏足ニ此義口傳

○三段ハ幣ニ段ハ扇ニテ舞神ホト合テ五段也但神ホ内色々ノ曲アリ其時ハ  
太コヲカシテ去段ノ中ニハ不成幣ヲ左ニ取又<sup>不</sup>庶幾

○此神ホヲ真ノ神ホト云又惡シ真ノ神ホト云名目ナシ 白拍子ト云カ良

○神ホ中ニ摺拍子ト云又太テ大鼓トニ有又<sup>此</sup>時ハ太丈モ足踏口傳

○白籬ノ又當世知タル人稀也段ハ五段ニ以數定ル口傳 ○白籬時ワキモ任<sup>様</sup>アリ  
口傳

○白籬ハ不棄進スシテカニ非舞非神ホ非働非翔外拍子ノ前後同位ニ可籬口傳

○白籬時太モ笛ニ付テ段ノカシ 笛ハ太丈ノ任ニイヲ見テ段ヲ吹又<sup>口</sup>傳

○二段ニ段ノ間太丈ノ任ニイニヨリテ三从ト云又太ラニアリ口傳

○白籬時ニ訊ノ内ニ定タル働所アリ口傳 ○白籬時幣ヲ捨所常ニカル口傳

女宅

述懐 位破

○花ニ以テ賑ニ可チ難 去ナカラハ患シ

太丈立衆以テ位破

○花ニ道行サラクト可シ難

○ヨロクツケ

○花ニ勤ノ内強クケテ可シ難

○平ナリカキを仕ハシハシ紅  
是ヨリ取出シト云所ニテ口傳心持アリ

○初進仕此御子相傳ノ時 初ヨリ本ヲ教ルト 玄用居申サレシイク通りモアリテ  
傳ニ違ハ有トキニナリ

○後シトシリシヨリ物計時  
ヨリ物分リ時

○空人ささる

下セル向  
ヒツハリテ  
早カラス  
オソカラス  
侍アリ

○花ニサシクリ述懐アレハハマカニ浮立心非ス ○花曲述懐 ○ワカ詠出口傳

○花ニ舞御前ノイニ非ス 則守ニ由断セヌイナレハ又カリタル吉又ナシイノ名大聖舞ノ手シ  
并慶山門生立テ常ニ此舞ヲモテアソブト 舞位破急シ 切カラクト難ヘシ太丈イッテ任シ

錦木

戀慕小舞一

○花ニ男ノリマウト是ヲ云

○花ニ面ヲノ瘦田カ 位通下所ト善知鳥トノ間也 今キリヤシカラ又男也 花ノ説

○花ニ太コナキ舞ノ内ニテ急シ

○花ニ切舞ノ内ヨリモ引ハテノルカクサ化ヤカニ囃ヘシタルモハ太丈仕イテナス切留ハ破シトムル

雲林院 雜位序破

○玄用居申云小治ヨリ女ユウニ

同云當詠ヲ人何ヲヌキマウニ思ハカシ宗玄居今時當詠ヲ多唄ハシ人ハ覺エスト申サレシシ

○玄用居存生ノ時 堀助名衛門殿ニテ素詠ノ時今ノ織部モ然ラレシ也 下タキヲ堂取ノ詠石

衛門ニキ、侍リシニシテノ出ヲトガメテ出侍ハハ嚴氏云玄用ハハキ、申サレシシ只スラリト出タス

申サレシ故玄用ニ同侍ハハトカメテ出タル方ニサレリト申サレ侍リ也

六ツウト云侍アリ

疑フ氣味申  
キメル申

あい、  
子カラ

○花ニ勤ノ内強クケテ可シ難

○花ニ道行サラクト可シ難

○花ニ以テ賑ニ可チ難 去ナカラハ患シ

○花ニサシクリ述懐アレハハマカニ浮立心非ス

○花ニ舞御前ノイニ非ス 則守ニ由断セヌイナレハ又カリタル吉又ナシイノ名大聖舞ノ手シ

○花ニ切舞ノ内ヨリモ引ハテノルカクサ化ヤカニ囃ヘシタルモハ太丈仕イテナス切留ハ破シトムル

○枝付ト云夏アリ  
口傳

耶郭

初祝言後併前位序破

一説序ノ破ノ急序

○花：夢中祝言也ニキクト可雅  
ユメサメテ後悟シヒラク如禪法也

○此次茅ニ双ラハラスト云夏アリ口傳

○織公云此切南無ニ室モヨククオモハモ何事ナク  
詛モスラト唄ヒ何ノコトモナキヤウニオモハセ橋カリヘスカクト行  
悟得テノ如テヒラキチシテ仕舞イサレ  
タルトアリトナン

殺生石

鼓 押ル  
木石心アリトイフ也

○當流野テ面ナシ 狐蛇 或ハシカニ  
狐蛇ノ時ハ白頭被 白羊切

野言 懐旧 感莫カ 位序破序

○花：真ニ可雅

○當詛織公ハ初テ目見時赤坂清休老人同道ナリキ  
其時申サレハ詛ハ切積老人ニナルト肉コケテヤスル者也  
随分肉ノコケ又ヤウニ嗜ムヘキ事ナリ  
松古ノ内ヨリ肉コケルヲ好ム人アリ以ノ外感キナリ

織公云次茅ノ位  
一ウイッテ詛モ其  
次茅ノ趣向有姓  
ハ詛ヤウ傳アリ是  
其詛一番ノ把紐  
ナリト云云

ハニニニニニ  
秋より後ハ

○花：中ノ色  
也ト云  
下女後  
野言乃

○織公云ナキ身ノホトテヤニツメヨシヤ思ハテトクトニメ忘執ヲラシテ玉ヤテ亦シムルカ吉

○序ノ舞

花ニカテ掛リ也文アル能ト云松風ノ如ク二段目ナリ 是鳥居ヲ目付ス

○花破舞留ニ松風ノ如ク鳥居ヲハルクトツカシゲニ見オクル仕マイアリ松風ト亦上同前

亦ニ夏ニテ太夫有舞立拜スル夏アリ 詛心持アリ久長云破ニイノアト右太夫合當手スル夏  
アリハ當手トメト云其時ハ赤上及ノ色ヲ聞テ唄出ス

百萬

花<sub>ニ</sub>甲<sub>ニ</sub>次<sub>ニ</sub>茅<sub>ニ</sub>陽<sub>ニ</sub>也 但<sub>レ</sub>呆<sub>レ</sub>  
賤<sub>キ</sub>狂<sub>女</sub>アリ

○念佛唄出テ太<sub>コ</sub>付<sub>ル</sub>

金<sub>ハ</sub>太<sub>コ</sub>ヨリ<sub>テ</sub>出<sub>ス</sub>  
花<sub>ニ</sub>念佛<sub>ノ</sub>内<sub>太</sub>コ<sub>ニ</sub>及<sub>付</sub>ス也

○花<sub>ニ</sub>曲<sub>キ</sub>リ<sub>ク</sub>ト<sub>可</sub>難<sub>ツ</sub>ヨク<sub>ク</sub>沢<sub>山</sub>ニ<sub>可</sub>難

○花<sub>ニ</sub>翔<sub>ノ</sub>中<sub>衆</sub>テ<sub>可</sub>難<sub>ヲ</sub>沢<sub>山</sub>ニ

○カケリ 翔<sub>ル</sub>地<sub>及</sub>厄<sub>ニ</sub>イ<sub>ル</sub>アリ

○私心 前<sub>ニ</sub>誠<sub>信</sub>私<sub>ナ</sub>ク<sub>ト</sub>百<sub>心</sub>ニ

○花<sub>ニ</sub>子<sub>ニ</sub>逢<sub>逢</sub>又<sub>サ</sub>キ<sub>ハ</sub>シ<sub>ヤ</sub>ギ<sub>リ</sub>ト<sub>可</sub>唄<sub>子</sub>ニ<sub>逢</sub>テ<sub>ヨ</sub>リ<sub>ウ</sub>ラ<sub>メ</sub>シ<sub>キ</sub>心<sub>待</sub>ニ

○花<sub>ニ</sub>切<sub>ハ</sub>祝<sub>言</sub>也 サ<sub>ラ</sub>ク<sub>ト</sub>可<sub>難</sub>走<sub>ノ</sub>難<sub>ニ</sub>









